



Hokkaido Lifelong Learning Association

ほっかいどう  
**生涯学習**  
Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

新しい自分との

出会いや発見がきっとある



道庁池のマガモの親子

## 目次

- |                             |                        |
|-----------------------------|------------------------|
| ●平成20年度第1回理事会・評議員会…………… 2～3 | ●視聴覚センターからのお知らせ…………… 5 |
| ●ほっかいどう学検定について…………… 3       | ●・随想 5…………… 6          |
| ●道民カレッジからのお知らせ…………… 4       | ・人の動き                  |
|                             | ・編集後記                  |

## 平成二十一年度第一回理事会・評議員会開催

五月二十八日、平成二十一年度の第一回理事会・評議員会が開催され宇田川会長の挨拶に続き議事に入り、「平成十九年度事業報告」及び「平成十九年度収支決算、監査報告」が提案され原案どおり承認されました。

役員の任期満了に伴う理事・監事及び評議員は次のとおり選出されました。

また、理事の互選により役員の選出も行われ、会長に宇田川会長が再選されました。

### 新役員紹介



- ・ 会 長 宇田川 洋 (東京大学名誉教授)
- ・ 副会長 中田 和子 (北海道女性団体連絡協議会会長)
- 〃 善養寺 圭子 (社)北海道家庭生活総合道ウンセリングセンター副理事長)
- 〃 鈴木文男 (北海道社会教育委員連絡協議会会長)
- 〃 富舂和夫 (助)北海道地域活動振興協会常務理事)
- 〃 専務理事 木村 征範 (助)北海道生涯学習協会事務局長)
- 〃 理 事 岩村 吉男 (北海道町村教育委員会連合会理事)
- 〃 喜多義憲 (株)北海道新聞社取締役事業局長)
- 〃 黒川 吾基 (北海道PTA連合会会長)
- 〃 谷内昭治 (学校法人谷内学園理事長)
- 〃 中村 博 (北海道公民館協会会長)
- 〃 水見山 幸夫 (北海道教育大学教授)
- 〃 町井輝久 (北海道大学名誉教授)
- 〃 水島 良治 (株)北洋銀行執行役員人事部長)
- 〃 溝口博史 (北海道放送株式会社取締役編成制作局長)
- 〃 若狭弘樹 (北海道文化団体協議会事務局長)
- ・ 監 事 高崎盛雄 (社)北海道子ども会育成連合会常務理事)
- 〃 谷口直弘 (株)北海道銀行公務室長)
- ・ 評議員 大木光恵 (社)ガールスカウト日本連盟北海道支部支部長)
- 〃 大越孝夫 (北海道青年の家等連絡協議会会長)
- 〃 梶井祥子 (北海道武蔵女子短期大学准教授)
- 〃 河地良一 (北の未来塾21主宰)
- 〃 小山忠弘 (ふるさと再生塾塾長)
- 〃 澤田康文 (北海道青年団体協議会事務局長)
- 〃 高間 專逸 (北海道高等学校PTA連合会会長)
- 〃 高倉嗣昌 (助)ふきのとう文庫理事長)
- 〃 瀧上春男 (助)北海道青少年育成協会専務理事兼事務局長)
- 〃 入部道之 (日本ボーイスカウト北海道連盟事務局長)
- 〃 細野 敏 (北海道高等学校校長協会副事務局長)
- 〃 丸毛直樹 (北海道社会教育主事協議会会長)
- 〃 宮崎博美 (北海道国際女性協会事務局長)
- 〃 宮崎善昭 (助)北海道YMCA総主事)
- 〃 村上忠雄 (北海道都市教育委員会連絡協議会)
- 〃 森本正夫 (日本私立大学協会北海道支部支部長)

平成19年度収支計算書総括表  
平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

科目	一般会計	道立生涯学習推進センター事業受託特別会計	北海道体育指導委員協議会事業受託特別会計	北海道教育関係公益法人協会事業受託特別会計	内部取引消去	合計
I 事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
① 基本財産運用収入	81,273					81,273
② 事業収入	1,661,500					1,661,500
③ 受託事業収入	0	43,733,000	830,000	1,760,000		46,323,000
④ 会費収入	1,788,000					1,788,000
⑤ 補助金収入	8,476,000					8,476,000
⑥ 寄付金収入	200,000					200,000
⑦ 雑収入	70,000					70,000
⑧ 繰入金収入	1,260,000				△ 1,260,000	0
事業活動収入計(A)	13,536,773	43,733,000	830,000	1,760,000	△ 1,260,000	58,599,773

科目	一般会計	道立生涯学習推進センター事業受託特別会計	北海道体育指導委員協議会事業受託特別会計	北海道教育関係公益法人協会事業受託特別会計	内部取引消去	合計
2 事業活動支出						
① 管理費	7,385,664					7,385,664
② 事業費	6,362,888					6,362,888
③ 受託事業費支出		42,461,764	790,253	1,536,674	△ 1,260,000	43,528,691
④ 繰入金支出						0
⑤ 補助金(委託費)返納支出		1,271,236	39,747	223,326		1,534,309
事業活動支出計(B)	13,748,552	43,733,000	830,000	1,760,000	△ 1,260,000	58,811,552
事業活動収支差額(A)-(B)	△ 211,779	0	0	0	0	△ 211,779
II 投資活動収支の部	0	0	0	0	0	0
III 財務活動収支の部	0	0	0	0	0	0
当期収支差額	△ 211,779	0	0	0	0	△ 211,779
前期繰越収支差額	3,985,532	0	0	0	0	3,985,532
次期繰越収支差額	3,773,753	0	0	0	0	3,773,753

**受検者募集中!**  
「ほっかいどう学検定」  
～学んで生かそう北の未来～

ほっかいどう学検定は、北海道をよく知ることを北海道づくりの基本とし、北海道を理解し、北海道を愛し、北海道の創造的発展の主体となる道民を育てることを目指すものです。

◆検定実施日  
平成二十年十月二十六日(日)  
午後二時

◆検定会場  
札幌会場 『北海道大学』  
旭川会場 『旭川大学女子短期大学』  
函館会場 『北海道教育大学函館校』  
帯広会場 『とちがちプラザ』  
釧路会場 『北海道教育大学釧路校』

◆検定の種類と検定料  
入門検定(基礎知識編) 五〇問(六〇分) 一、五〇〇円  
一般 二、五〇〇円  
高校生以下 一、〇〇〇円  
上級検定(応用編) 一〇〇問(九〇分) 三、〇〇〇円  
一般 三、〇〇〇円  
高校生以下 一、〇〇〇円

◆対象  
北海道に興味関心のある道民及び全国の人々

◆合格証書  
授与者は、道民カレッジ学長(北海道知事)です

◆出題領域  
『北海道の歴史と文化』

◆事前講習会(検定会場と同じ)  
旭川会場 八月二十四日(日)  
函館会場 八月三十一日(日)

帯広会場 九月七日(日)  
札幌会場 九月十四日(日)  
釧路会場 九月十五日(月・祝日)  
◆事前講習会受講料  
一、五〇〇円  
(テキスト代除く)

◆公式問題集  
料金 一、〇〇〇円(消費税込み)  
(七月中旬発売予定)

◆受検申込み・問い合わせは  
「ほっかいどう学検定推進機構」事務局まで  
〒060-0002  
札幌市中央区北2条西7丁目

電話 011-231-4111  
(内線 36-370、36-343)  
FAX 011-281-6664  
Eメール college@hsgk.jp  
ホームページアドレス http://www.hsgk.jp

◆その他  
・検定合格者には、生涯学習を支援するコーディネーターとして学校や地域での講師、ボランティア等、ふるさとへの愛着と誇りを持って、北海道づくりへ貢献することが期待されます。  
・道民カレッジ生は、事前講習会を受講すると、ほっかいどう学コースとして5単位認定。併せて、事前講習会とセットで入門検定を受検した場合は1単位認定、上級検定受検で2単位を認定します。

◆主催  
「ほっかいどう学検定推進機構」  
「北海道・北海道教育委員会・(株)北海道新聞社・(財)北海道生涯学習協会他九団体」

愛称「マナボー」



道民カレッジ  
ロゴマーク

# 『学びから夢が生まれる』 道民カレッジのお知らせ

## 道民カレッジ 事業について

道民カレッジは、北海道を一つのキャンパスに、道内各市町村や大学等の高等教育機関、各種団体や民間教育事業者等が行う講座等を体系化し、ネットワークを図りながら様々な学習機会を提供し、道民が自らの意思によって、いつでも、どこでも、希望の講座を選び、学ぶことができるようにした「生涯学習の学園」です。

ぜひ、道民カレッジに入学し、多くの仲間と学習をとおして交流を深めてみませんか。

### ◎「道民カレッジ」の実施状況

(三月三十一日現在)

#### ◇学生数

- (男) 九、四一〇名
- (女) 一、二、二〇二名

#### ◇称号取得者数

- ・学士(一〇〇〇単位) 二四三名
- ・修士(二〇〇〇単位) 一三九名
- ・博士(三〇〇〇単位) 一〇一名
- ・学長奨励賞(一千単位) 一六名

#### ◇連携講座数

- ・ほっかいどう学コース
  - 一四七団体 三〇八講座
  - 一一七団体 三六四講座
- ・環境生活コース
  - 一九〇団体 三五三講座

- ・健康スポーツコース
  - 九五団体 二三四講座
- ・教養コース
  - 二三五団体 六九二講座
- ・合計
  - 七八四団体 一九五一講座

#### ◇大学放送講座

- ・札幌大学、旭川大学、北翔大学、北海道学園大学、北海道医療大学、北海道情報大学、北海道大学、北海道東海大学、東京農業大学、北海道教育大学(二〇講座)
- ・レポート数 二、二五八本

#### ◇「ほっかいどう学」出前講座

- ・富良野市、礼文町、夕張市、占冠村、厚岸町、中標津町、帯広市、鹿部町、鹿追町、真狩村、北見市、白老町
- ・参加者数(一二講座) 六〇八名

#### ◎平成二十年度「ほっかいどう学」大学放送講座

- ☆道内の八大学が参加します。
- ◇十月からHBC放送予定です。
- ・放送時間は未定
- ◇再放送(十月中旬以降放送予定)
- ・放送時間は未定
- ◇ブロードバンドでの番組配信予定

#### ◎「大学放送講座」テキストを販売

- (八月下旬販売予定)
- ◇一冊 九〇〇円(送料一〇五円)
- ・購入いただき、三十分間のテレビ視聴と併せて、レポートを提出するときの参考にしてください。
- ◇レポート提出につき、必修単位が一単位認定されます。

### 【放送内容】

#### 第一回 東海大学

「北海道生まれの健康食品」  
美と健康の維持に向けて

副学長(教授) 西村 弘行

#### 第二回 北海道学園大学

「多民族社会北海道」  
「多様な文化の発展に寄与する」とは

人文学部教授 岩崎まさみ

#### 第三回 北海道医療大学

「北海道の精神保健福祉」  
日本におけるベストプラクティス

イス帯広・十勝地域・浦河べてるの家の取り組みから

看護福祉部教授 向谷地生良

#### 第四回 北海道教育大学札幌校

「北の大地と暮らしの品格」  
現代の生活スタイル再考

教育学部教授 住田 和子

#### 第五回 北海道情報大学

「北海道発展論」  
北海道の未来を開拓する

経営情報学部システム情報学科 教授 角井 穆

#### 第六回 北海道大学

「森をまもり持続可能な社会をつくる」  
大学院農学研究院

教授 柿澤 宏昭

#### 第七回 東京農業大学

「北海道が誇るかまぼこ製造開発技術」  
とくに、オホーツク地域を中心に

生物産業学部食品科学科 教授 永井 毅

#### 第八回 旭川大学

「地域通貨の今」  
活気ある地域経済とコミュニティを

経済学部准教授 吉地 望

### 〈指定講座〉

#### 「ほっかいどう学ネットワーク推進事業」

#### 「ほっかいどう学」実践講座の開催

ノンフィクション作家・歴史ロマンを語る  
(シリーズ全四回)

#### 合田一道氏講演会 プロフィール

・空知郡上砂川町出身  
・北海道新聞社に入社し、主に事件担当記者として道内各地を回る



・途中、北海道文化放送に出向して編集部長などを勤め、その後北海道新聞社の編集委員に  
・現職中からノンフィクション作品を発表  
・主な著書「日本史の現場検証」「日本人の死に際」「龍馬、蝦夷地を開きたく」など

第一回 日時 平成二十年七月八日(火)  
午後一時三十分～四時三十分

会場 午後一時三十分～四時三十分  
かでの2・7大会議室(四階)  
テーマ 「古文書にみる北の人間学Ⅰ」  
松浦武四郎・坂本 龍馬 他

第二回 日時 平成二十年七月十五日(火)  
午後一時三十分～四時三十分

会場 午後一時三十分～四時三十分  
かでの2・7大会議室(四階)  
テーマ 「古文書にみる北の人間学Ⅱ」  
榎本 武揚・島 義勇 他

\*参加料 各千円  
(当日会場にて申し受けます)

\*第三回及び第四回は、平成二十二年二月に開催予定です。

\*単位の認定 必修一単位、または「ほっかいどう学」コース三単位のいずれかを選択することができま

\*申込み 各開催日の三日前までに左記に申込みください。

電話 〇一一一三三三三三三三三三  
FAX 〇一一一三三三三三三三三三  
Eメール college@hsgk.jp

## 視聴覚センターからのお知らせ

視聴覚センターでは、収蔵する約五千タイトルの視聴覚教材(ビデオ、DVD、十六mmフィルム)を無料で、全道の皆様にお貸ししています。

ここでは、平成十九年度に整備した教材からご紹介します。

### 『はばたけ明日への瞳』

(DVD 五一分)

いじめはなぜ起きるか。いじめ側の心の闇といじめられる側の悲しみを丁寧に綴り、友情の美しさにいじめの解決の糸口を探る、心温まる感動の物語。

### 『ケータイ・ネット社会の落とし穴』

(DVD 各三十分全三巻)

小・中学生がはまりやすい「ケータイ・ネット社会の罠」携帯、インターネット、ブログの利用に関わるトラブルの対処法を、ドラマを通じて分かりやすく解説。

### 『幸せな明日のために』

(VHS 二八分)

急増する十代の性感染症。この作品では、思春期の男女を対象に性感染症に対する知識とその具体的な予防法について、図解をまじえて解説します。

### 『日本国憲法』

(VHS 一五分)

日本国憲法の三大基本原理である「国民主権」・「基本的人権の尊重」・「平和主義」について、アニメーションにより分かりやすく解説しています。

### 『生きることと死ぬこと』

(VHS 二三分)

ホスピスで死と向かい合う人々の長期取材、自宅出産のドキュメントなど、命の現場を真摯に取材し、テープに記録したドキュメンタリー。

### 『名前：それは燃えるいのち』

(VHS 一八分)

人それぞれが持つ固有の名前を通じて、他者を思いやり、大切にすることを訴えるアニメーション。

### 『海女のリャンさん』

(DVD 九〇分)

戦争により、日本、韓国、北朝鮮に離散した多くの家族。この作品は、国境を隔てて暮らす家族の絆を守り続けた、一人の女性の半生を追うドキュメンタリーです。

### 『愛は海より深く』

(VHS 五五分)

揺れ動く国際社会。身近で暮らす外国籍の人も増えています。この作品では、国籍による差別のない社会の実現のために、在日外国人の視点から人権問題を考えます。

### ※らくらくWEBで申し込み

視聴覚センターの教材は、WEBから借用の申し込みをし、宅配便で受け取ることができます。

詳しくは左のアドレスにアクセスを！

<http://manabi.prefhokkaido.jp/>

お問い合わせ.....

電話 〇一一―二三一―四一一

(三六一―三四五)

FAX 〇一一―二八一―六六六四

## 「まなびの広場」展の紹介

情報交流広場(まなびの広場)

では、一年間を通じて計画的に道内の生涯学習関係団体や道内各市町村の活動紹介及び展示等の発表の場を提供しています。

皆さんの「まち」や「団体」も応募してみませんか。

六月以降の展示計画についてご紹介いたします。

六月 北海道保健福祉部保健医療局医薬務課

「薬物乱用は、ダメ！ゼツタイ！」パネル展

七月 三笠北海盆踊り実行委員会

「第七回三笠北海盆おどり」  
おはなしなあに  
「心を育てるおはなしの会」

八月 札幌切り絵の会

「第六回北海道切り絵作品展」

九月 道民カレッジ「大学放送講座」実行委員会

「平成二十年度大学放送講座展」

十月 北海道保健福祉部福祉局福祉支援課

「平成二十年度北海道福祉のまちづくり展」

十一月・新冠町教育委員会社会教育

「レコード・蓄音機展」

・かでの2・7

書と絵手紙サークル

「書と絵手紙サークル展」

十二月・国立大雪青少年交流の家

「ゆーすびあつてナンだ？」

一月 北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課

「家庭教育推進月間展」

二月 アートスタジオBENIO

「千代紙and羊毛のアート」

三月 フォトさつぽろ「花の会」

「花を中心とした写真展」



随想⑤ 「心外無法」

自分も生涯学習せねばならぬと、ある本のタイトルに惹かれ一冊の本を購入した。それは安岡正篤という人の『東洋倫理概論』の現代語訳で、『人間』としての生き方という文庫本である。著者は明治

なつた頃に、室内に入り、筆を持っていただいた。その時に、さらさらと何枚も書を書いていただいた中に、小生がうやうやしく頂戴した一枚の書が「心外無法」としたためたものであった。さて、その意味は？ 「心の外に法は無い」と読めるのであるが、真意はいかに？

三一年生まれで、東京帝国大学法学部で東洋思想を学び、昭和五八年に逝去するまで政財界の精神的支柱として多くの支持を得たとされている。著書は数多くあるが、『朝の論語』『論語に学ぶ』『孟子』『王陽明』など東洋思想に関するものが目立つ。

ここで、先ほどの安岡正篤氏が本が登場するのである。中国は孔子の時代の話である。紀元前五〇〇年頃の話で、先の文庫本の中にそのヒントがあったのである。架空の人物二人と孔子の弟子である子張という人の会話を載せている。その架空の人物である無約が、「いわゆる小人となつてはいけない。いわゆる君子であつてもいけない。生きた内面的必然の理法、心の内から自然にほとぼり出てくる道徳の叫び声を体認しなければならぬ」と述べている。なるほど内面的必然の理法なのか、と勝手に頷いている次第である。

とここで、先日NHKテレビを見ていたら、薬師寺の日光菩薩・月光菩薩が久しぶりの日の目を見せる話題が報道されていた。「菩薩の二人旅」と洒落たタイトルであった。今年の三月から「国宝・薬師寺展」が東京国立博物館で開催され、今まで見ることができなかった両菩薩の後姿を含め三百六十度の鑑賞が可能なスタイルで展示されているというものである。

このような酔った姿の師の生き方に凄さを感じたのであるが、日頃の心の摂生を要求されたような日を過ごさせていただいた。合掌。

その折に、薬師寺の管主・安田瑛胤師も当然登場したのである。師とは一度常呂町でお会いしたことがある。ある方の紹介でご一緒にお酒を呑み、歌も歌ったのである。そして夕刻になって外が寒く

(財)北海道生涯学習協会

会長 宇田川 洋

人の動き

四月一日付

転入

事務局長

木村征範 (事業部長から)

総務部長

三原和廣 (石狩教育局から)

学習振興課長

佐賀康悦 (主幹から)

主幹

山下孝将

大水孝平 (登別市立幌別中から)

星加敦美 (遠軽高校から)

転出

学習振興課長

十河栄一 (夕張小学校長へ)

社会教育主事

二階堂洋子

(北海道立生涯学習推進センターへ)

退職

事務局長

白野 覚

相談員

角 栄茲

三月三十一日付

事務局からお願い

・会員の皆様で住所が変わられた方は、事務局までお知らせください。  
・本年度の事業が始まりました。誠に恐縮に存じますが会費未納の方は、納入についてよろしくお願いいたします。

編集後記

「あー、私でもできるでしょうか」

五月十日、ある女性から事務局に電話が入った。

十日というのは、「ほっかいどう学検定」がはじめて新聞に掲載された日である。

聞くと今年七十五歳になるので、もう学習することもないだろう。

それに今更、と思っていた矢先の新聞報道である。「北海道に愛着があるんです。七十五年も北海道で生活してきたのだから私でもやれる気がして。生粋の道産子だから」

「やってみましょうよ。やることによって何かが変わればいいです」と事務局員。「それでは、手始めに入門検定をお願いします」

手始めとは、この次があるということである。学びたいという意欲。「うーん、すごいなあ」賞賛、そして感動。

七月一日から、正式に受験申し込みが始まる。

会員諸氏！やってみようではありませんか。

